

施工説明書

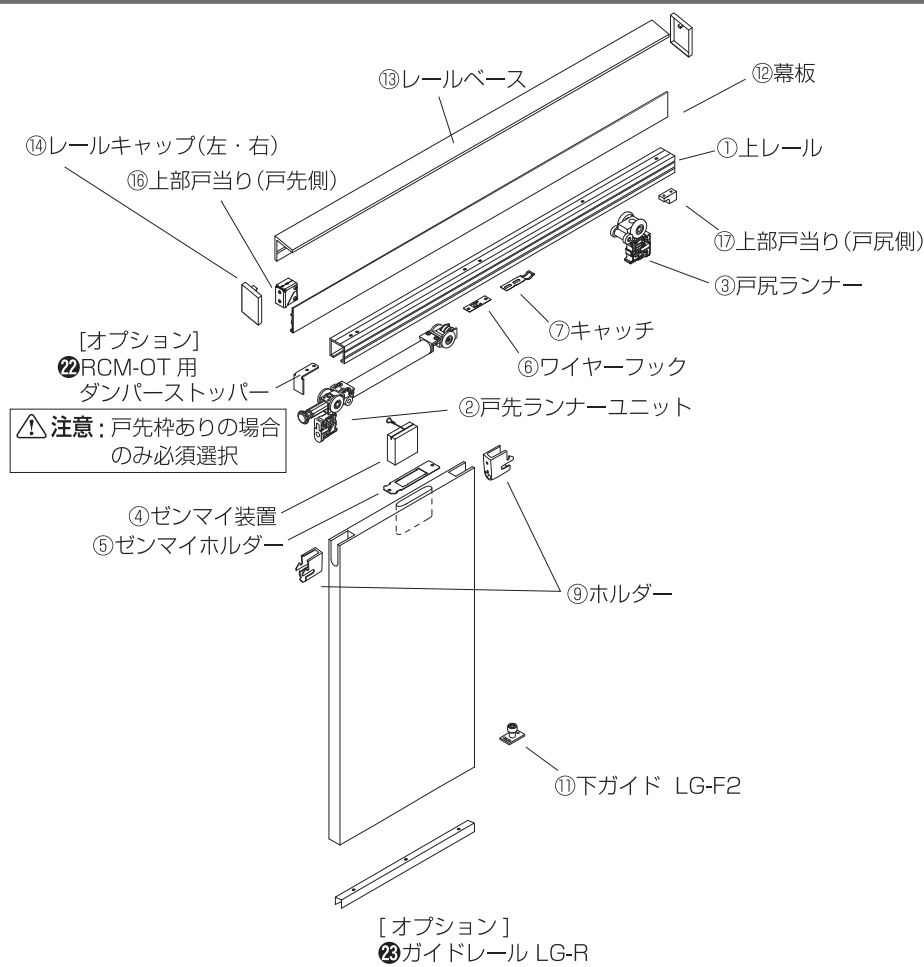


RoomCloser ルームクローザー RCM-OT

建具仕様

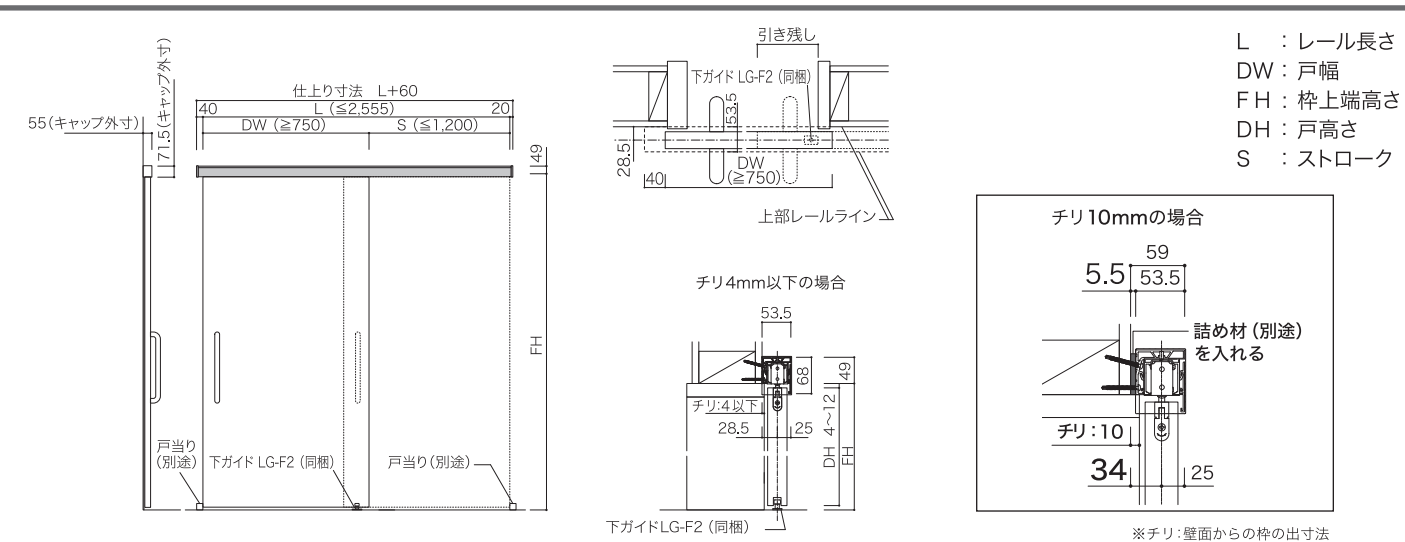
- 木製片引戸
- 重量 40kg以下 (推奨20kg以上)
- 戸厚 28mm~36mm
- 戸幅 750mm以上 ストローク 1,200mm以下

部品構成

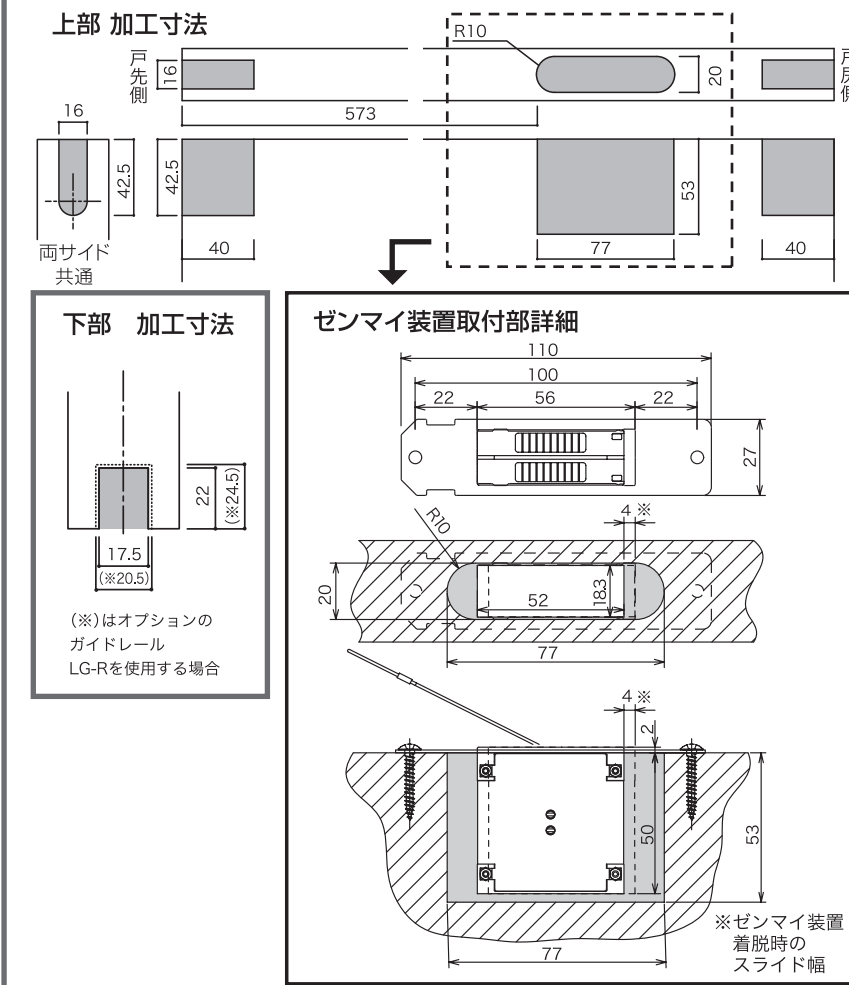


名称	数量
① 上レール (L=2,555)	1
② 戸先ランナーユニット	1
③ 戸尻ランナー	1
④ ゼンマイ装置	1
⑤ ゼンマイホルダー	1
⑥ ワイヤーフック	1
⑦ キャッチ	1
⑧ 上レール取付けねじ 【+トラス M4x12】 ①、⑥、⑦の取付けを兼用	12
⑨ ホルダー	2
⑩ ホルダー取付けねじ 【+ナベタッピン M4x30 (GB色)】	6
⑪ 下ガイド LG-F2 【付属ねじ: +六角タッピン M4x25 2本】	1
⑫ 幕板	1
⑬ レールベース	1
⑭ レールキャップ (左・右)	2
⑮ レールベース取付けねじ 【+ナベヒアス M4x40】	10
⑯ 上部戸当り (戸先側)	1
⑰ 上部戸当り (戸尻側)	1
⑱ ゼンマイホルダー取付けねじ 【+トラスタッピン M3.5x25】	2
⑲ レールキャップ取付けねじ 【+ナベタッピン M4x8】	1
⑳ 上部戸当り (戸先側)取付けねじ 【+ナベタッピン M4x10】	2
㉑ 上部戸当り (戸尻側)取付けねじ 【+トラスタッピン M4x18】	2
オプション	
㉒ RCM-OT用ダンパーストッパー 【付属ねじ: +ナベタッピン M4x10 2本】	1
㉓ ガイドレール LG-R	1

参考納まり図 (戸先枠なし)



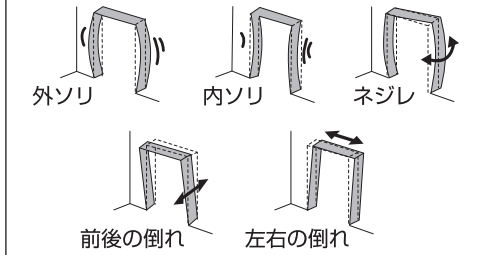
引戸加工図



ご使用上の注意

- 学校や商業施設などの不特定多数の方が利用される箇所や、過酷な条件下でのご使用はお控えください。
- 屋外や浴室、化学薬品を取り扱う場所でのご使用はお控えください。

⚠注意 ●取り付けの枠や壁が変形していると正常に作動しない場合があります。



●レール内に潤滑剤のスプレーや塗布をしないでください。埃を吸着して作動不具合の原因になります。

●戸は強い力で開閉(急開・急閉)しないでください。作動不具合や破損の原因になります。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
セルフクローズの途中で止まってしまう	床面が下ガイドに戸の底が擦っていませんか。	戸の上下調整を行ってください。
	ブレーキが強く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
	レールが斜めに取付いていませんか。	レールを水平に取り付けてください。
全開時キャッチが機能しない	キャッチの取り付け位置がずれていませんか？	キャッチの位置調整を行ってください。
ブレーキが掛からない	ブレーキが弱く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
戸の開閉時に異音が発生する	戸が幕板や隣接する箇所を擦っていませんか。	隣接するものと擦らないよう、戸の前後調整を行ってください。
	上レール内にゴミや埃が残っていませんか。	レール内の清掃を行ってください。
	ランナーのタイヤにゴミや埃が付着していませんか。	一旦レールを外し、タイヤに付着したゴミや埃を取り除いてください。
	上レールを取り付けているねじの頭が出ていませんか。	ねじの締め直しを行ってください。

製品保証について

保証期間は建物の引渡日から2年間です。施工説明書やカタログの記載内容に基づく適正な使用状態で、保証期間内に当社製品に起因する不具合が発生した場合は、無償修理または交換をいたします。なお、保証期間内であっても以下に例示する免責事項にあてはまる場合は有償での修理、交換となります。

- 施工の不備に起因する不具合。
- 使用頻度が高いことによる部品の著しい損耗と、それに伴う作動不具合。
- 建具や枠、躯体の変形に起因する不具合。
- 異常な高温、低温または多湿の環境下での使用。
- 適用箇所以外、および適用サイズを超える建具を使用された場合。
- お客様自身による改造、分解、修理に起因する不具合。
- 天災などの不可抗力による不具合。

お問い合わせ先

株式会社 SKB

〒577-0032 大阪府東大阪市御厨1-5-3

TEL: 06-6788-1518

FAX: 06-6788-2056 www.skb-net.co.jp

はじめに、戸先側に縦枠がある場合は、別紙をご確認のうえ施工を始めてください。

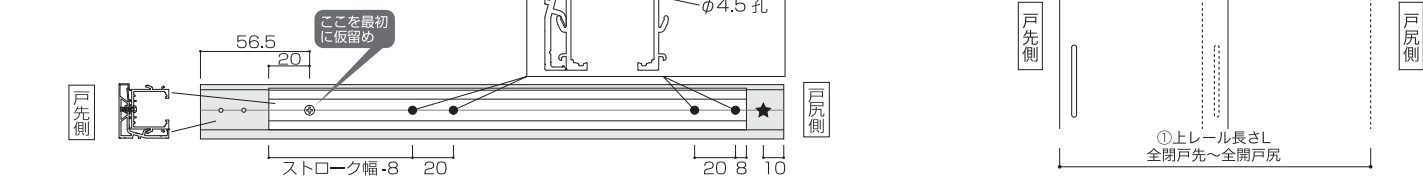
1 レールのカットと孔あけ

長さカット

- Lの長さを決定します。(L=全開戸先~全開戸尻)
- ①上レールをLの長さにカットします。カットは戸尻側で行います。
- ⑬レールベース・⑫幕板をカットします。全長の計算式はL+53mmです。
- ⑬レールベースは左右兼用で、カットは戸尻側で行います。

孔加工

- ⑬レールベースと①上レールを組み合わせます。
- 孔位置を揃えるために①上レールの戸先から20mm
- ⑬レールベースの戸先から56.5mmの孔を①上レール取付ねじで仮留めします。
- 印の位置4ヶ所に孔をあけます。孔径は①上レールがφ4.5、⑬レールベースがφ3.5です。**注意:**レールベースの上面を貫通しないようにあけてください。
- ⑬レールベースのみ★印の位置に1ヶ所φ3.5の孔をあけます。
- 孔あけが終わったら仮留めのねじを取り外します。



2 レールの取付け

レールベースの取付け

- ⑬レールベースの取付け位置を決め、⑮レールベース取付けねじで壁面に留めます。
- 枠のチリ寸法が4mmを超える場合は、⑬レールベースと壁面の間に合板等の詰め材を入れて調整します。

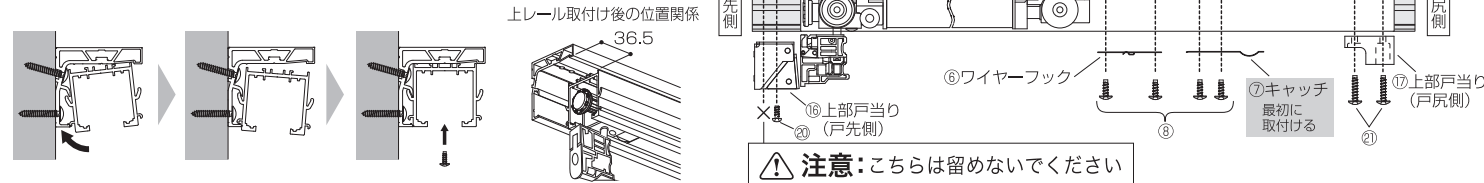
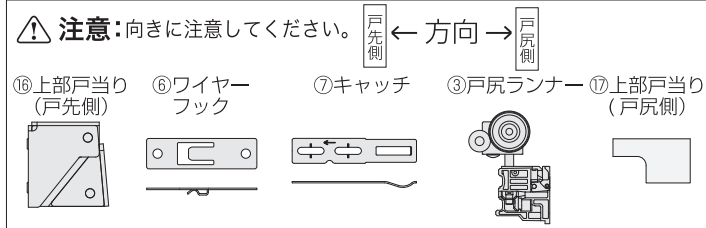
注意:

- レールベース取付け面には、必ずねじの利く下地が必要です。
- レールベースは必ず水平に、すべての取付け孔を使ってねじ留めてください。
- ねじ頭が浮くと①上レールが当たって取付かない場合があります。上側のねじ留めは角度に注意してください。(右図参照)
- 下地にねじが通らない箇所があった場合は、近くに孔をあけ直してください。

上レールと各 부품の取付け

注意: 各部品の向きに注意してください。

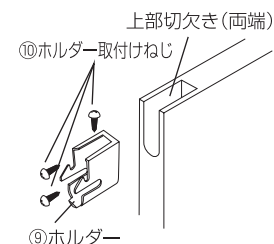
- ①上レールに、②戸先ランナーユニットと③戸尻ランナーを挿入します。
- ①上レールの爪を⑬レールベースの爪に引っ掛けます。下図のような状態で①上レールが仮保持され、手を離しても落ちないことを確認します。
- ⑬レールベースと①上レールのねじ孔位置を合わせて最初に⑦キャッチを取付けます。次に⑥ワイヤーフックを①上レール取付ねじで取付けます。
- ⑦上部戸当り(戸尻側)を②の専用ねじで取付けます。
- ⑮上部戸当り(戸先側)を②の専用ねじを使って図の1箇所のみ固定します。
- ①上レールに残っている取付孔を、①上レール取付ねじで固定してください。



3 吊込み前の準備

ホルダーの取付け

- ⑨ホルダーを戸の上部切欠きに入れ、⑩ホルダー取付けねじ(各3本)でねじ締めします。



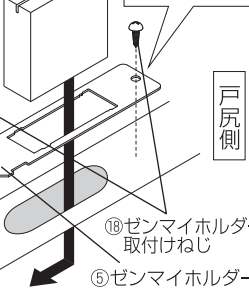
ゼンマイ装置の取付け

- ⑤ゼンマイホルダーを⑮ゼンマイホルダー取付けねじを使って取付けます。
- ④ゼンマイ装置を挿入し、戸先側へずらして⑤ゼンマイホルダーへはめ込みます。



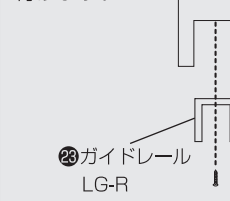
注意:

向きに注意してください。



【オプション】ガイドレールの取付け

- ガイドレールを必要な長さにカットし、戸の底溝に取付けます。



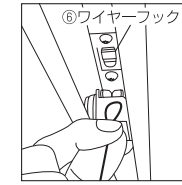
下ガイドの取付け

- ⑪下ガイドの取付け位置を決めます。
- 向きに注意して床に固定します。

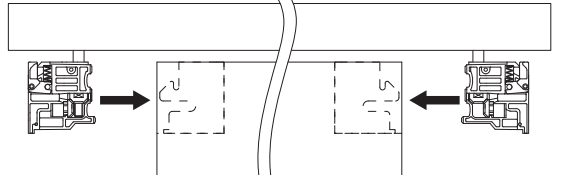


4 戸の吊込み

- まず上レール内部の清掃を行います。(ランナー走行面の拭き取り、エアブローでの埃除去。)
- 戸を開口部に寄せて、④ゼンマイ装置のワイヤー先端を⑥ワイヤーフックに引掛けます。

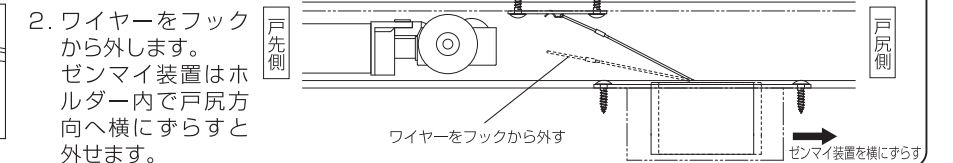
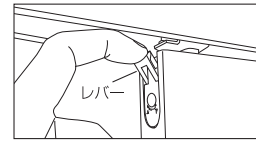


- 戸の底溝に⑪下ガイドを通して、③戸尻ランナーと②戸先ランナーユニットを⑨ホルダーにカチッと音が鳴るまではめ込みます。



戸の取外し

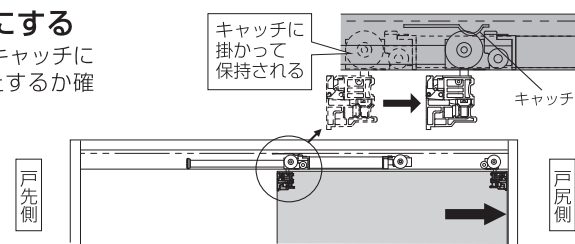
- 戸先・戸尻ランナーのレバーを起こして引き出します。
- ワイヤーをフックから外します。ゼンマイ装置はホルダー内で戸尻方向へ横にずらすと外せます。



5 動作確認

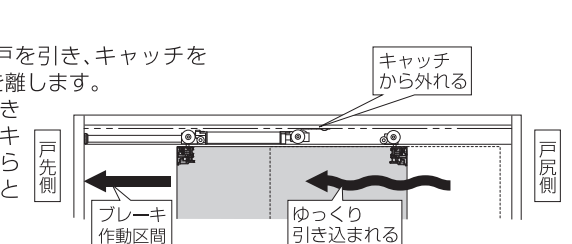
戸を全開にする

- 戸を全開し、キャッチに掛かって静止するか確認します。



戸を閉じる

- 全開状態から戸を引き、キャッチを解除したら手を離します。戸が自動で引き込まれ、ブレーキが掛かってから閉まりきることを確認します。

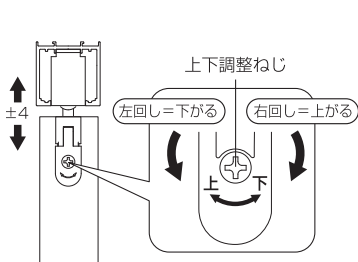


6 各種調整

注意: 各調整時、電動ドライバーは使用しないでください

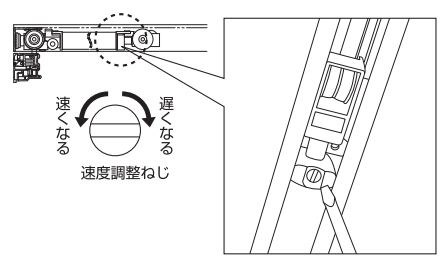
戸の上下調整

- 上下それぞれ4mmの調整が可能です。
- ②戸先ランナー・③戸尻ランナーの“上下調整ねじ”を回して調整します。



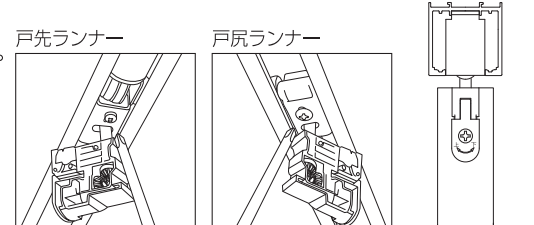
ブレーキ力の調整

- ブレーキ作動区間で戸が開まる速さを調整できます。
- ②戸先ランナーユニットを戸から引き出して、ブレーキシリンダーに付いている“速度調整ねじ”を回して調整します。
- ※左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる) 右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)



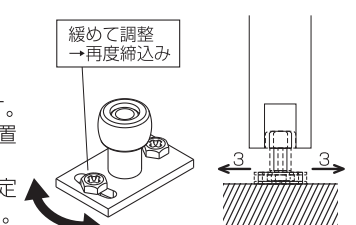
戸の前後(奥行き)調整

- 前後それぞれ2mmの調整が可能です。
- 戸先・戸尻のランナーを戸から引き出して、各ランナーの下面にある“前後調整ねじ”を緩めます。
- 戸の前後位置を調整します。
- 調整が終わったら“前後調整ねじ”を締め込みます。



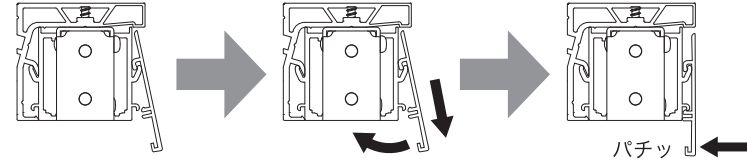
下ガイドの調整

- 前後それぞれ3mmの調整が可能です。
- 固定ねじを緩めます。
- 下ガイドの前後位置を調整します。
- 調整が終わったら、固定ねじを締め込みます。



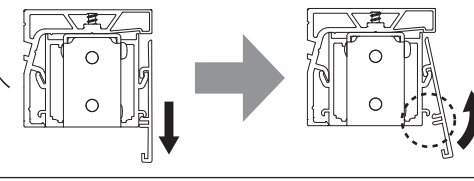
7 幕板の取付け

- ⑫幕板の裏面上側にある爪を、①上レールの爪に引掛けます。
- 幕板を下向きに引いて仮保持状態が確認できたら、下側をパチッと音が鳴るまで押し込みます。
- 幕板の下側をレールの端から端まで押し込み、浮いている箇所がないことを確認します。



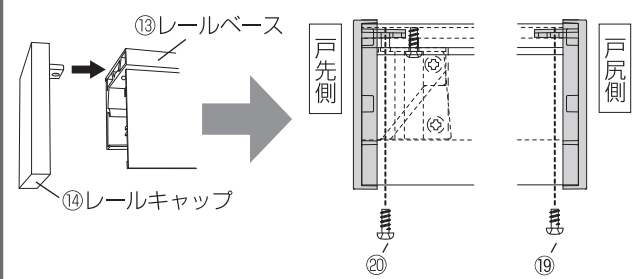
幕板の取外し

- 幕板の下側をつまんで、強めに下向きに引っ張りながら手前へ起こすと外れます。



8 レールキャップの取付け

- ⑭レールキャップを図のように⑬レールベースへ差込んで、戸先側は⑮上部戸当り(戸先側)の残りの孔から⑯のねじで固定します。戸尻側は⑯のねじで下から固定します。



注意: 施工完了後、戸の下部に必ず戸当り(別途)を設置してください。

● RCM-OT 参考納まり図 2 (戸先枠あり)

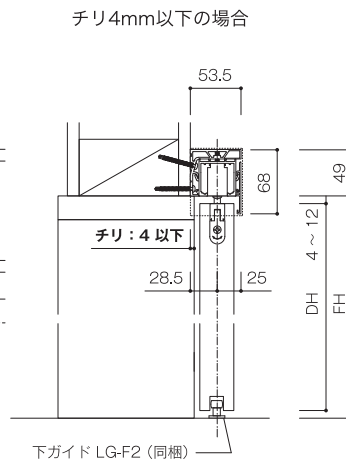
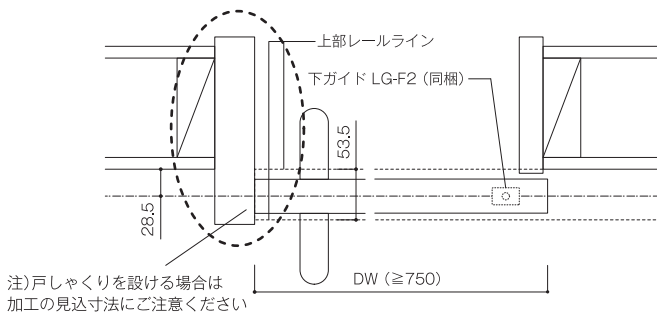
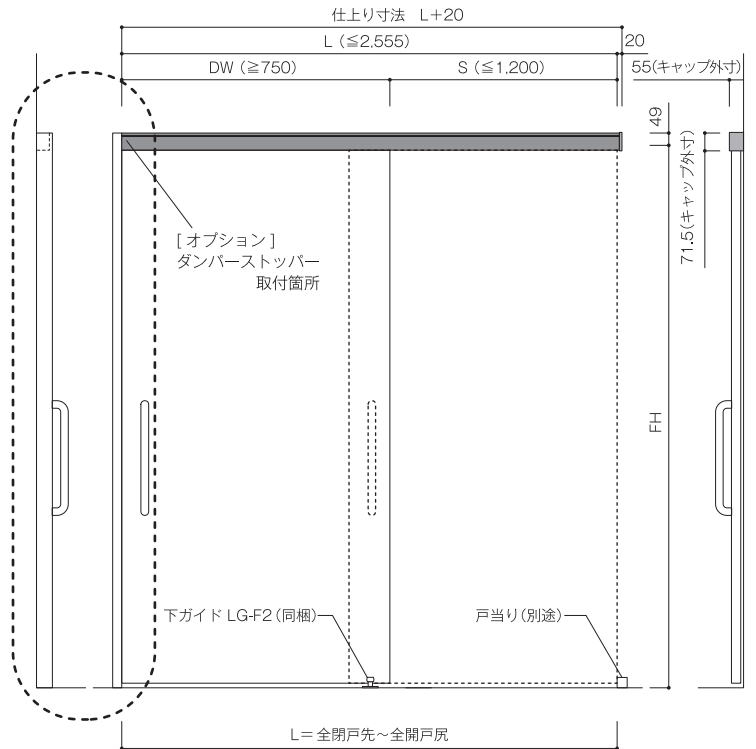
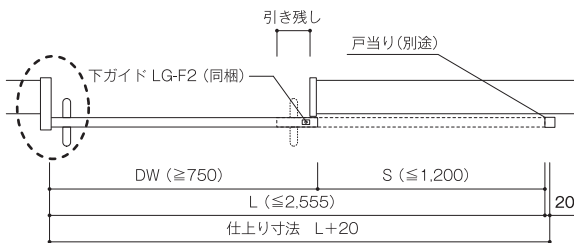
戸先側に縦枠がある場合

図のように、戸先側の納まりが標準とは異なる場合には、レールのカットや孔あけの要領が異なります。

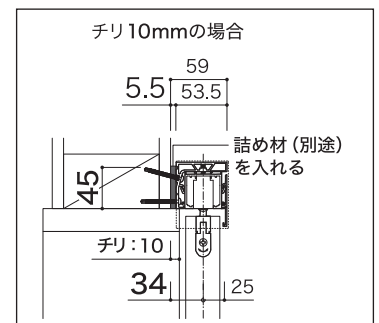
施工説明書の手順①の代わりに裏面をご覧ください。施工を始めてください。

⚠注意: オプション部品が要ります。

②RCM-OT用ダンパーストッパー1個が必要になります。



※チリ:壁面からの枠の出寸法



※チリ:壁面からの枠の出寸法

① レールのカットと孔あけ

長さカット

1. L の長さを決定します。(L = 全閉戸先～全開戸尻)

2. ①上レールを L の長さにカットします。

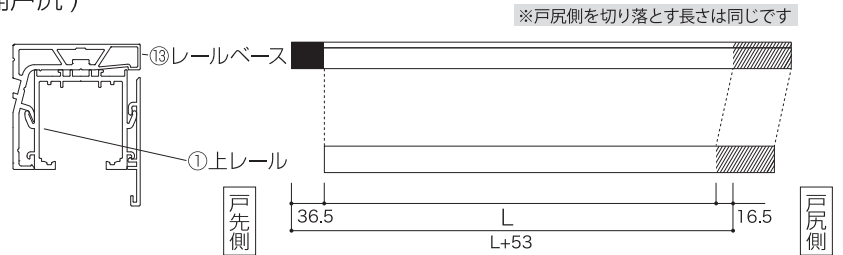
カットは戸尻側で行います。

3. ⑬レールベースの戸尻側をカットします。

切り落とす長さは 2. で①上レールをカットした際の長さと同じです。

(例：上レールを 100mm 切り落としていれば、レールベースの戸尻側を切り落とす長さも同じく 100mm。)

4. ⑬レールベースの戸先側 36.5mm を切り落とします。



⚠ 注意：戸尻側の長さカットとは別で行ってください。
片側だけでカットすると、上レールを固定する孔位置がずれてしまいます。

5. ⑫幕板を⑬レールベースと同じ長さ (L+16.5mm) にカットします。

孔加工

1. ⑬レールベースと①上レールを組み合わせます。

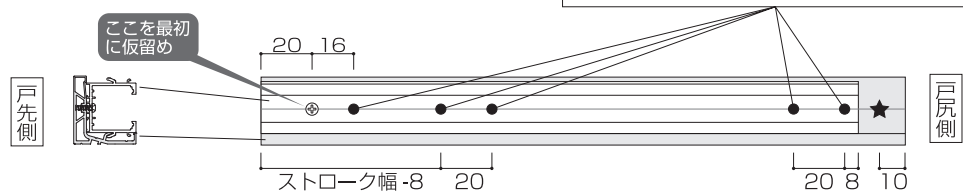
2. 孔位置を揃えるために①上レールの戸先から 20mm の孔を⑧上レール取付ねじで仮留めします。

3. ●印の位置 5ヶ所に孔をあけます。

孔径は①上レールがφ4.5、⑬レールベースがφ3.5です。

4. ⑬レールベースのみ★印の位置に 1ヶ所φ3.5の孔をあけます。

5. 孔あけが終わったら仮留めのねじを取り外します。



⚠ 注意：レールベースの上面を貫通しないようにあけてください。

② レールの取付け

上レールと各 부품の取付けより先、説明書と異なるのは以下の 2 点です。

- ・オプションの⑫RCM-OT用ダンパーストッパーを、戸先側へ付属のねじで取付けます。
- ・⑬上部当たり(戸先側)と⑭レールキャップの戸先側は使用しません。

